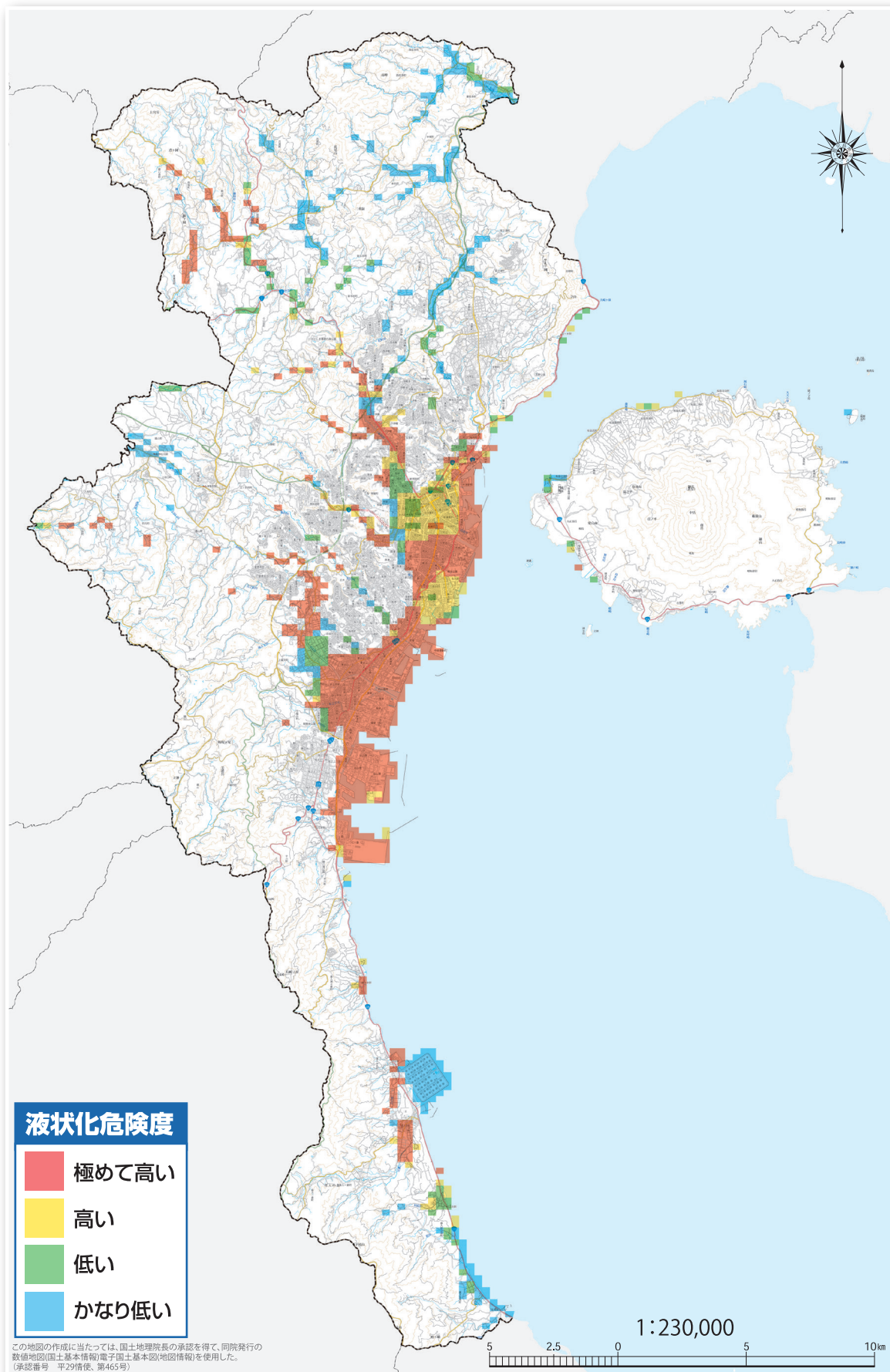


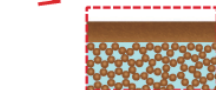
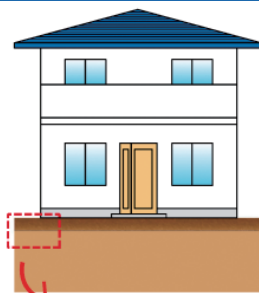
液状化ハザードマップとは？

地震の揺れで起こる液状化の危険度分布を表したものです。鹿児島県地震等災害被害予測調査(平成24年度から平成25年度実施)において、想定している11の地震のうちで鹿児島市に最も影響のある「鹿児島湾直下地震」(最大震度7)が発生した場合の液状化危険度を色分けして表示しています。



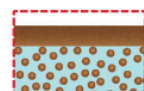
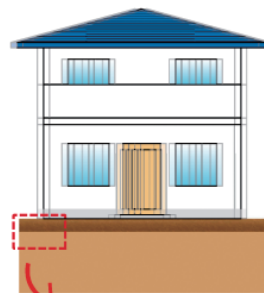
液状化現象

通常時



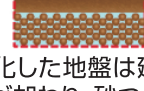
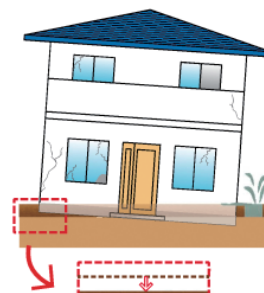
砂つぶ同士がバランスをとってかみ合い、建物の重さを支えています。

地震発生時



地震の強いゆれで砂つぶ間のバランスが崩れ砂つぶと水が混ざって液状化し、ドロドロの状態になります。

地震発生後



液状化した地盤は建物の重さが加わり、砂つぶと水が吹き出し(噴砂・噴水)、地盤が沈下します。